

労働安全衛生

労働安全衛生への取組みにおいて、当社グループは従来より「KWEグループ行動規範」の「12.健康安全」のもと、全ての従業員の健康と安全を重視した職場環境づくりを進めてきたほか、一部グループ法人ではISO45001(旧OHSAS18001)の認証取得等を通じ、現場レベルでの活動に注力しています。

こうした取組みを今後はグローバルレベルでさらに強化するために、本年8月「KWEグループ労働安全衛生基本方針」を策定しました。これに基づき、グループ共通の労働安全衛生管理体制と運営方法を定め、労働災害リスクを適切に管理することを目的に、「KWEグループ労働安全衛生管理規程」を策定しました。今後はKWEグループ労働安全衛生

委員会を定期的に行い、従業員の健康と安全のための施策を進めてまいります。

KWEグループ行動規範「12.健康安全」

従業員の健康と安全は当社にとって重要であり、当社は、全ての従業員が健康で安全な職場環境づくりに取り組むことを望んでいる。全ての役員・従業員は、健康で安全な職場環境づくりに努めるとともに、いかなる事故、傷害、不安全な労働条件についても報告しなければならない。職場内暴力などの全ての不法行為は、固く禁止する。

KWEグループ労働安全衛生基本方針

KWEグループは、従業員が健康で安心して働くことのできる職場でその能力を遺憾なく発揮し、お客様と社会に最大限の価値を提供することを目指します。

- (1) KWEグループの役員および従業員は、安全と健康を最優先に行動します。
- (2) KWEグループの役員および従業員は、関係法令および社内規程を遵守します。
- (3) KWEグループは危険有害要因を明確化し、被害を回避または軽減させるための対策を講じます。

安全への取組み事例1—KWEタイ

KWEタイでは、同社社長をリーダーとした安全委員会を立ち上げ、安全のための教育プログラム実施や環境整備など、様々な活動を行っています。



安全教育プログラムの実施

KWEタイにおける安全委員会の取組み

教育プログラムの実施

- ・ドライバー採用時研修(採用時)
- ・社内外の講師による安全運転講習(隔月開催)
- ・安全のための環境整備

ドライブレコーダーの設置

- ・4時間毎の休憩時間時における休憩場所の指定

安全への取組み事例2—近鉄ロジスティクス・システムズ

国内グループ会社で貨物自動車運送事業を行う近鉄ロジスティクス・システムズでは、安全への様々な取組みを行っています。

安全推進大会

- ① 年2回、全社員を対象に実施し、安全に関する啓蒙活動を実施

定期的な研修

- ② トラック乗務時の死角等を確認し、危険予知活動を実施
- ③ 貨物運搬機材の使用方法を定期的に訓練

運行管理

- ④ デジタルタコグラフとドライブレコーダーを全車両に完備
- ⑤ アルコールチェック等を実施

安全性優良事業者認定

- ⑥ 安全性優良事業所認定Gマークを2003年より維持

